

平成28年度 和歌山大学食農総合研究所研究年報 2017年3月30日現在(印刷発行:2017年4月)

I. 評価指標関係(文部科学省への必須報告分)

【地方創生や「食・農」に関わる事業】

1. 地方創生や「食・農」に関わる委員会等への参画や地域課題把握のための機会の増加状況
 - (1) 関係自治体委員会等への参画
 - (2) 地方創生会議やリエゾンサロンの開催
2. 地方創生や「食・農」に関わる研究成果を創出し、共同研究・寄付講座の受託への発展状況
 - (1) 寄付講座
 - (2) 受託・共同研究
3. 地方創生や「食・農」に関わる研究成果の地域への還元機会の増加
 - (1) 研究成果の公表
 - (2) セミナーでの報告・提言

II. 独自項目関係

4. その他
 - (1) 学会発表・研究会報告
 - (2) 競争的資金等による研究活動
 - (3) その他(雑誌論説、研究報告書・研究資料、新聞記事、テレビ・ラジオ出演など)
5. 研究所活動
 - (1) 運営委員会 食農アドバイザー会議
 - (2) 所内会議
 - (3) 研究ユニット会議
 - (4) オフィス会議
 - (5) 研究所成果報告・研究年報・研究所だよりなど
 - (6) 意見交換会、広報活動など
6. 参考資料(別添資料)

食農協議会規約・名簿、食農アドバイザーボード規約・名簿、研究ユニット申し合わせ・名簿等

1- (1) 地方創生や「食・農」にかかわる関係自治体の審議会・委員会における有識者委員としての参画：10件／年

※平成28年度・和歌山圏域および国関係の機関のみ。

氏名	審議会等の名称	資格	主催	団体種別	備考
① 辻和良	農業大学校アグリビジネス学科設置に伴う検討会	委員	和歌山県農業大学校	県・公共	
② 大西敏夫	和歌山県農業改良普及連絡協議会	会長	和歌山県農林水産部	県・公共	
③ 大西敏夫	和歌山県食育推進協議会	会長	和歌山県	県・公共	
④ 岸上光克	和歌山県農業農村振興委員会	委員	和歌山県	県・公共	
⑤ 岸上光克	マナビスト支援セミナー	講師	和歌山県教育委員会	県・公共	
⑥ 岸上光克	国産食肉等新需要創出緊急対策事業 優良事例調査委員会	委員	日本食肉消費総合センター	公益財団法人	
⑦ 藤田武弘	和歌山食材テロワール事業検討委員会	会長	和歌山県	県・公共	
⑧ 藤田武弘	みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会	有識者委員	和歌山県	県・公共	
⑨ 藤田武弘	和歌山県卸売市場審議会	会長	和歌山県	県・公共	
⑩ 藤田武弘	和歌山県グリーンゾーン推進委員会	委員長	和歌山県	県・公共	
⑪ 藤田武弘	和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会	委員	和歌山県	県・公共	
⑫ 大西敏夫	近畿農政局農村振興関係交付金選定審査委員会	委員	農林水産省近畿農政局	国	
⑬ 植田淳子	農林水産省「食と農の景勝地」	審査委員	農林水産省	国	
⑭ 藤田武弘	地域資源を活用した観光地魅力創造事業検討委員会	有識者委員	観光庁	国	
⑮ 藤田武弘	子ども農山漁村交流による地域活性化モデル事業審査委員会	審査委員	総務省	国	
⑯ 大西敏夫	わかやま農商工連携ファンド事業審査会	審査委員	財団法人わかやま産業振興財団	財団法人	
⑰ 大西敏夫	和歌山県農地中間管理機構評価委員会	委員	公益財団法人和歌山県農業公社	公益財団法人	

1-(2)A 地方創生や「食・農」にかかわる課題抽出の場としての「地方創生推進協議会」の開催：3回／年

	開催日	名称	場所	参加人数	会議内容
①	平成28年10月3日	地方創生推進・食農協議会	和歌山大学本部共通棟3階会議室	6人	食農協議会規約の確認と会長選出。会長に県農林水産部の鎌塚部長、職務代行に県農協中央会の中家会長を選出。案件：1)食農総合研究所の概要について、2)食農総合研究所の事業計画について、3)自己紹介と意見交換
②	平成28年10月3日	地方創生推進・食農協議会実務者会議	和歌山大学本部共通棟3階会議室	6人	同上
③	平成29年3月8日	地方創生推進・食農協議会実務者会議	和歌山大学本部共通棟3階会議室	7人	案件：1)平成28年度食農総合研究所の業務ならびに活動について、2)食農総合研究所の今後の活動について(ご意見ならびにご提言など)

1- (2) B 地方創生や「食・農」にかかわる情報交流の場としての「リエゾンサロン」の開催：3回／年

	開催日	名称	テーマ等	講師・報告者等	場所	参加人数	開催内容等
①	平成28年10月3日	話題提供並びに情報交換会	「食と農をつなぐ」	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食農ビジネス推進センター 食農ビジネス研究チーム長 河野 恵伸氏	本学本部共通棟3階会議室	20人	
②	平成28年12月11日	「都市農村共生」研究ユニット・研究交流会	戦後日本の農家女性研究とグリーンツーリズムとの関係性	和歌山大学食農総合研究所 植田淳子氏	本学観光学部棟学部長室	15人	
③	平成28年1月8日	「都市農村共生」研究ユニット・研究交流会	解題「都市農村交流の現代的意義」、講演「農業体験農園が切り開く都市農業の新たな可能性」、調査報告「東京都練馬区農業体験農園区分利用者アンケート調査結果について」	和歌山大学観光学部 藤田 武弘、全国農業体験農園協会理事長 加藤義松、和歌山大学大学院博士後期課程 藤井至	JA わかやま	80人	
④	平成29年1月20日	「地域資源活用」研究ユニット・エクスカージャーション	「元気な農業・地域・JA」	株式会社社州まちづくり舎 吉川誠人氏 JA紀の里 下田和敬二氏	農園レストラン「石窯ポロロ」 JA紀の里「めっけもん広場」	15人	和歌山市内での6次産業化の取り組みとともに、全国有数の売上を誇るJA紀の里の直売所「めっけもん広場」の視察を行った。
⑤	平成29年1月21日	「地域資源活用」研究ユニット・シンポジウム	「食と暮らしのものがたり-テロワールを活かす-」	総合地球環境学研究所 田中樹氏、他6人	和歌山大学地域連携センター松下会館	70人	
⑥	平成29年3月1日	「都市農村共生」研究ユニット・現地交流会	「秋津野ガルテンを中心とした地域づくりの取り組み」	株式会社秋津野 代表取締役社長 玉井 常貴氏	田辺市・秋津野ガルテン	9人	玉井氏から、田辺市上秋津地区の地域づくりについて、これまでの展開過程、今後の取り組み等について講演頂いた後に、参加者と意見交換を行った。
⑦	平成29年3月3日	公開セミナー	「地方創生」に求められる課題と展望	長野県飯田市長 牧野光朗氏	本学観光学部「T-101教室」	40人	

2- (1) 寄付講義の開講 (学部開放講義としてリカレント教育にも対応)の開講: 1科目 (一般受講者10名、学生20名以上) / 年

講義名	講義内容	受講者	講義の目的・成果	備考
地域づくり戦略論 (後期) 南紀熊野 サテライト学部 開放科目	<p><視座①: 戦略的地域づくりのための理論> 10/01-02 (土日) ガイダンス(藤田武弘; 和歌山大学)</p> <p>【01】地域循環型社会構築の現代的意義(橋本卓爾; 和歌山大学名誉教授)</p> <p>【02】協同組合の現代的価値(小野雅之; 神戸大学教授)</p> <p>【03】中山間地域問題の可視化(有田昭一郎; 島根県中山間地域研究センター主任研究員)</p> <p><視座②: 「地域づくり・人材育成」実践の成果に学ぶ> 10/29-30 (土日)</p> <p>【04】地域経営のための合意形成と組織づくり(玉井常貴; 株式会社秋津野社長)</p> <p>【05】農商工連携とコミュニティビジネス(木村則夫; 株式会社秋津野専務)</p> <p>【06】産官学地域連携とコーディネーターの役割(岸上光克; 和歌山大学准教授)</p> <p><視座③: 食と農との統合による地域活性化の可能性> 11/12-13 (土日)</p> <p>【07】料理人が繋ぐ生産と消費(尾藤環; 辻調理師専門学校コミュニケーション本部長)</p> <p>【08】高校生レストランから学ぶ地域資源活用(岸川政之・皇學館大学特命教授)</p> <p>【09】地域循環型「食農連携」と農家レストラン(野島五兵衛; 農園杉五兵衛園主)→枚方市へ現地訪問</p> <p><視座④: 都市農村関係の変化と新しいツリーリズム> 2017/01/07-08 (土日)</p> <p>【10】都市農村関係の変化と日本型グリーン・ツーリズム(藤田武弘; 和歌山大学教授)</p> <p>【11】域学連携ワーキングホリデー受入と地域の変化(及川久仁江; 岩手県奥州市農家民宿「まよごや」女将)</p> <p>【12】地域と共に歩む都市農業の新たな展開(加藤義松; 東京都練馬区農業体験農園「緑と農の体験塾」園主)</p> <p><視座⑤: 日本農業の行方と農山村再生の戦略> 2017/02/04-05 (土日)</p> <p>【13】日本農業の後継者問題を考える(山本淳子; 農研機構・食農ビジネス推進センター研究員)</p> <p>【14】地域サポーター人からみた農山村再生(岡司直也; 法政大学教授)</p> <p>【15】世界の食料問題と日本農業(大西敏夫; 和歌山大学教授)</p> <p><特別講義> 2/18-19 (土日)</p> <p>【00】地域再生と地域内再投資力論(岡田知弘; 京都大学教授)</p> <p>【00】まどめのワーキングショップ(藤田武弘; 和歌山大学教授)</p>	50名	講義の総括およびそれぞれの視座から提供される講義のコーディネーターは主任講師がとめるが、産官学地域連携の視点から、民間事業者、地域住民も講師陣に加えるほか、農村地域再生にかかわる全国的議論をリードする大学教員や実践者をゲストスピーカーに迎えることで、時宜にかななった体系的な学びの場を提供をめざす。	江頭ホスピタリティ 事業振興財団 「寄付講義」 (主任講師: 藤田武弘)

2- (2) 地方創生や「食・農」にかかわる自治体および関係団体からの受託・共同研究: 2件/年

名称	予算規模	受託・共同研究別	委託元	研究代表者	参加教員	研究概要(記述中)
① 「企業の森」に関する経済波及効果推計調査	937,029	受託研究	和歌山県	大浦 由美	大西敏夫、辻和良、植田淳子	森林組合へのアンケート調査およびヒアリング調査、企業・団体へのアンケート調査およびヒアリング調査、関連組織へのヒアリング調査などを踏まえ、「企業の森」に関する経済波及効果を推計し、今後の地域経済循環モデルの構築に活かす。
② 梅酢ポリフェノールのかぜ症候群・インフルエンザの予防に関する研究	12,000,000	共同研究	紀州田辺らめ振興協議会 会長 真砂 充 敏	大西 敏夫	三谷隆彦、味村紀紗	梅酢ポリフェノールのかぜ症候群・インフルエンザの予防に関する研究について、和歌山県立医科大学との連携による臨床試験をを踏まえ実施している。
③ 観光素材の掘り起し及びコワーディネート事業	3,000,000	共同研究	紀美野町	岸上 光克	大西敏夫、藤田武弘、藤田和史、辻和良、植田淳子、大浦由美	農業・農村分野を重点に置いて、以下の3調査(①農家全戸調査、②テーマ別(移住者・農家民泊)調査、③観光周遊調査)を行うことにより同町の現状把握と今後の展開について検討する。
④ 市民農園の新たな展開方式による都市農業再生方策に関する研究	1,200,000	共同研究	JAわかやま	藤田 武弘	大西敏夫、大浦由美、辻和良、植田淳子	和歌山市内・都市的地域における市民農園・体験農園の取組・普及について、県外の先進事例の調査を踏まえながら、新たな方策について研究・開発している。

3- (1) 地方創生や「食・農」にかかわる研究成果(学術図書・学術論文等の公表): 5編以上/年

氏名	業績	発行所	掲載誌・書名 書名・巻号・頁数	発行年	業績内容	査読の有無	備考	概要
① 大西敏夫・藤田武弘	The seasonal variation of redox status in Komatsuna(Brassica rapa var. perviridis)leaves	Scientia Horticulturae	Scientia Horticulturae 210 pp.49-56	平成28年7月	論文	有	共著	
② 후지타 타케히로(藤田武弘)	변화하는 도시? 농촌관계와 일본형 그린투어리즘의 현대적 의미(変化する都市農村関係と日本型グリーン・ツーリズムの現代的意義)	한국농업경제학회(韓國農業經濟学会)	2016년도 하계 학술대회(2016年度夏期学術学会), pp.41-60.	平成28年7月	学術論文(招待論文)	無	単著	
③ 岸上光克	漁村再生に向けた都市漁村交流の取り組み実態と課題	地域漁業学会	地域漁業研究第56巻第3号 pp.53-65	平成28年6月	論文	有	単著	
④ 野口敬夫・岸上光克・菊地昌弥	褐毛和種産地の高知県における卸売業者の事業戦略と課題	日本農業市場学会	農業市場研究第25巻第2号、pp.36-42	平成28年9月	論文	有	共著	
⑤ 辻和良・植田淳子・藤田武弘	農山村地域への移住者の実態と受入側の課題ー和歌山県内受入協議会を通じたアンケートをもとにー	日本農業市場学会	農業市場研究第25巻第4号、pp.61-67	平成29年3月	論文	有	共著	
⑥ 大西敏夫	和歌山県における農地中間管理事業の実施状況と課題	全国農地保有合理化協会	土地と農業No47号、pp.92-100	平成29年3月	論文	無	単著	
⑦ 植田淳子	戦後日本の農家女性をめぐる研究の到達点と課題	和歌山大学観光学会	『観光学』和歌山大学観光学会	平成29年3月	学術論文	有	単著	

3-2 地方創生や「食・農」にかかわる自治体および関係団体主催の講演・セミナーでの報告・提言：10件／年

氏名	小分類(講演会・研究会・セミナー等)	題目	講演会	主催	日時	参加人数
① 辻和良	講演会	都市・農村交流と農産物直売所の役割	柿の茶屋生産者大会	NPO法人 よりみち	平成28年4月15日	50人
② 岸上光克	講演会	なぜ、今、食と農の時代なのか	まちかどサロン	和歌山市・和歌山大学地域 連携推進協議会	平成28年7月14日	10人
③ 大西敏夫	研究会 (コーディネーター)	これからの農業を考える(パネルディスカッション)	平成28年度 近畿ブロック農 業士地域研究会	和歌山県 農業士会 連絡協 議会・近畿ブロック農業士連 絡協議会	平成28年7月28日	150人
④ 藤田武弘	セミナー	農村ワーキングホリデーが変える都市農村関係	田辺市龍神村WHD説明会	田辺市, 和歌山県	平成28年7月28日	25人
⑤ 藤田武弘	研修会	都市農村交流が拓く農村再生の可能性	官農指導員(上級)養成研 修講義	JA和歌山県中央会	平成28年8月2日	12人
⑥ 藤田武弘	研修会	都市農村交流が拓く農村再生の可能性	全国地域リーダー養成塾一 般研修	地域活性化センター, 総務 省	平成28年8月4日	70人
⑦ 植田淳子	講演会	人と地域に出逢う旅 -グリーンツーリズムの魅力とは-	「まちなかサロン」Plug	わかやまイネ!プロジェクト	平成28年8月18日	15人
⑧ 大西敏夫	講演会	耕作放棄地対策について	平成28年度 JA和歌山青年 大会	和歌山県 農協青年部協議 会	平成28年8月23日	80人
⑨ 岸上光克	講演会	農山村の今 「地方創生」の次なる動き	定例研究会	まちづくりネットワークまし わだ	平成28年8月24日	30人
⑩ 岸上光克	パネルディスカッション (コーディネーター)	棚田がつなぐ村人と街人 (パネルディスカッション)	第3回 わかやまの棚田・ 段々畑サミット	和歌山県 棚田等保全連絡 協議会	平成28年9月2日	394人
⑪ 大西敏夫	指導助言	総合的な学習の時間	日高等学校	「スーパージョーバルハイス クール(SGH)」研究開発事 業	平成28年10月6日	40人
⑫ 岸上光克	講演会	産官学地域連携とコーディネーターの役割	平成28年度地域づくり戦略 論	江頭ホスピタリティ事業振興 財団	平成28年10月30日	40人
⑬ 岸上光克	講演会	近年の果実需要と産地対応	平成28年度加工研究所専 門委員会	一般社団法人和歌山県農 産物加工研究所	平成28年12月8日	32人
⑭ 大西敏夫	講演会	地域農業の振興について	日高地域農業士	日高地域農業士連絡協議 会	平成29年2月28日	70人
⑮ 大西敏夫	指導助言	総合的な学習の時間	日高等学校	「スーパージョーバルハイス クール(SGH)」研究開発事 業	平成29年3月7日	40人
⑯ 植田淳子	研修会	「体験学習・教育旅行」に関する講演	和歌山県	和歌山県観光交流課	平成29年3月21日	30人
⑰ 植田淳子	講演会	地域の知恵を食育に生かす	和歌山県	和歌山県 農林水産部	平成29年3月22日	70人
⑱ 辻和良	講演会	地域資源を活かした都市と農村の交流	紀の川市農業士会総代会	紀の川市 農業士会、那賀地 方農業士協議会女性部会、 紀の川市生活研究グループ 連絡協議会	平成29年3月24日	50人
⑲ 辻和良	講義	農業経営特論	非常勤講師	和歌山県農業大学校	平成28年9月13日～ 平成29年2月7日 (7回、15時間)	14人

4-(1) 学会発表・研究会報告等

氏名	題目	学会・研究会名	主催	日時	場所	備考
① 辻和良・植田淳子・藤田武弘	農山村地域への移住者の実態と受入側の課題－和歌山県内受入協議会を通じたアンケートをもとに－	日本農業市場学会2016年度大会	日本農業市場学会	2016年7月3日	徳島大学	
② 岸上光克・野口敬夫	地鶏における低需要部位利用促進の取り組みと今後の課題－阿波尾鶏と丹波黒どりを事例として－	2016年度日本農業市場学会	日本農業市場学会	2016年7月3日	徳島大学	
③ 岸上光克	持続可能な地域づくり戦略－地域運営組織に注目して－	食と暮らしの研究会定例研究会	食と暮らしの研究会	2016年10月31日	総合地球環境学研究所	
④ 藤田武弘・岸上光克	「食」を活かした地域活性化を考える	鳥取県日野高校・和歌山大学高大連携研修	鳥取県日野高校	2016年12月4日	鳥取県日野高校	
⑤ 植田淳子	戦後日本の農家女性とグリーンツーリズムとの関係性	農業理論研究会	農業理論研究会	2016年12月11日	和歌山大学観光学部	
⑥ 辻和良	和歌山県における農山村地域への移住者の実態と課題	近畿農業経営研究会	兵庫県立農林水産技術総合センター	2016年12月15日	兵庫県庁	
⑦ 岸上光克	地域と大学の連携とコワーキングスペースの役割	奥州農村ワーキングホリデー研究会和歌山研修	奥州農村ワーキングホリデー研究会	2016年12月17日	秋津野ガルテ	
⑧ 岸上光克	和歌山県におけるグリーンツーリズムとソーシャルビジネス	東京農工大学農業市場学研究室農村調査実習	東京農工大学農業市場学研究室	2017年1月9日	秋津野ガルテ	
⑨ 岸上光克	野菜・果物の流通事情	食と暮らしの研究会公開シンポジウム	食と暮らしの研究会	2017年1月21日	和歌山大学松下会館	
⑩ 岸上光克	地域と大学の連携を考える	平成28年度農山村再生セミナー	奥州農村ワーキングホリデー研究会	2017年2月27日	奥州市民プラザ	

4-(2) 科学研究費・その他競争的資金、委託研究等

氏名	課題名	競争的資金名	主催機関	代表・分担別	備考
① 植田淳子	JA直売所における農家女性の主体形成の変容に関する研究—和歌山県JA紀の里めっけもん広場の取り組みを中心に—	平成28年度 JA研究奨励費	一般社団法人 JC総研	代表者	
② 辻和良、岸上光克	国産レモンのバリューチェーン構築によるカンキツ産地の維持と需要拡大戦略	科学研究費・基盤研究C	日本学術振興会	研究分担者	
③ 岸上光克	観光素材の掘り起し及びビコデーネート事業	共同研究	紀美野町	研究代表	
④ 岸上光克	DMO形成による地域の価値創造基盤再構築事業	平成28年度独創的研究支援プロジェクトA	和歌山大学	研究分担者	
⑤ 岸上光克	初心者や熟練者でも収穫作業が楽になる山椒の作出	平成28年度独創的研究支援プロジェクトB	和歌山大学	研究分担者	
⑥ 岸上光克	ネットワーク型ビジネスモデル：農村型コミュニティビジネスの価値創出要因と課題	平成26～28年度基盤研究(C)	日本学術振興会	研究分担者	
⑦ 藤田武弘	新たな人口移動を契機とする農山村地域の経済およびコミュニティの変容に関する研究	平成28～30年度基盤研究(C)	日本学術振興会	研究代表者	研究分担者：岸上光克、大西敏夫、辻和良、植田淳子
⑧ 大西敏夫	生産緑地制度下における都市農地の保全と活用に関する研究	平成27～29年度基盤研究(C)	日本学術振興会	研究代表者	
⑨ 藤田武弘、大西敏夫	ソバを核とした6次産業化による過疎化・高齢化地域の活性化に関する研究	平成26～28年度基盤研究(C)	日本学術振興会	研究分担者	
⑩ 岸上光克	食肉流通加工業者による牛赤身肉の高付加価値化とバリューチェーンの構築	平成27～28年度公益法人日本食肉流通センター助成事業	公益法人日本食肉流通センター	研究分担者	

4-(3) その他(雑誌論説、研究報告書・研究資料、新聞記事、テレビ・ラジオ出演など)

氏名	分類	題目	機関名・巻号名	発行所・番組名称等	日時	備考
① 岸上光克	雑誌論説	果実の消費傾向について	和歌山の果樹4月号	JA和歌山県農	2016年4月1日	
② 岸上光克	雑誌論説	果実の販売実態について～コンピニ編～	和歌山の果樹5月号	JA和歌山県農	2016年5月1日	
③ 岸上光克	新聞記事	産校利用(現場からの農村学教室6)	日本農業新聞	日本農業新聞	2016年5月15日	
④ 岸上光克	雑誌論説	果実の販売実態について～スパー編～	和歌山の果樹6月号	JA和歌山県農	2016年6月1日	
⑤ 岸上光克	雑誌論説	カットフルーツの小売業における原料果実の取扱状況	和歌山の果樹7月号	JA和歌山県農	2016年7月1日	
⑥ 岸上光克	雑誌論説	カットフルーツの消費実態と製品開発の方向性	和歌山の果樹8月号	JA和歌山県農	2016年8月1日	
⑦ 大西敏夫	寄稿	和歌山農業のこと、食農総合研究所のこと	21世紀WAKAYAMA Vol.83	一般財団法人和歌山社会経済研究所	2016年8月23日	
⑧ 岸上光克	雑誌論説	高付加価値型果樹農業経営の特徴とは何か	和歌山の果樹9月号	JA和歌山県農	2016年9月1日	
⑨ 大西敏夫	新聞記事	耕作放棄 ます抑制を(けいざい、和歌山)	朝日新聞	朝日新聞	2016年9月7日	
⑩ 大西敏夫	直言	求められる「農業主」の役割発揮	地域農業と農協 第46巻第2号	(社)農業開発センター	2016年9月30日	
⑪ 岸上光克	雑誌論説	高付加価値型果樹農業経営の主要タイプと発展モデル	和歌山の果樹10月号	JA和歌山県農	2016年10月1日	
⑫ 岸上光克	雑誌論説	広島県のレモン(産地)拡大戦略	和歌山の果樹11月号	JA和歌山県農	2016年11月1日	
⑬ 岸上光克	雑誌論説	6次産業化にみる地域視点の戦略	和歌山の果樹12月号	JA和歌山県農	2016年11月1日	
⑭ 大西敏夫	新聞記事	ミカン発信 創生への道(けいざい、和歌山)	朝日新聞	朝日新聞	2016年12月7日	
⑮ 辻和良	雑誌論説	果樹の経営論 第1回 果樹経営の動向と改善方向	和歌山の果樹・2017年1月号	和歌山県農業協同組合連合会	2017年1月1日	
⑯ 大西敏夫	新聞記事	6次産業化へ地産地消(けいざい、和歌山)	朝日新聞	朝日新聞	2017年1月18日	
⑰ 辻和良	雑誌論説	果樹の経営論 第2回 大規模経営の可能性	和歌山の果樹・2017年3月号	和歌山県農業協同組合連合会	2017年3月1日	
⑱ 大西敏夫	新聞記事	地方創生 第1次産業が基軸(けいざい、和歌山)	朝日新聞	朝日新聞	2017年3月8日	
⑲ 岸上光克	雑誌論説	果樹の需要動向と産地対応	研究所だより2016第39号	一般社団法人和歌山県農産物加工研究所	2017年3月発行予定	
⑳ 岸上光克	研究報告書・研究資料	低需要部位の商品開発に関する取り組み	平成28年度国産食肉等新需要創出緊急対策事業 国産食肉等の新需要創出へのチャレンジⅣ	公益財団法人日本食肉消費総合センター	2017年3月発行予定	
㉑ 荒木良一・宮崎英寿・石山俊・岸上光克・大坪史人	研究報告書・研究資料	「食と暮らしの研究会」の活動報告(2016年度)	学芸	和歌山大学教育学部	2017年3月発行予定	

5. 研究所活動

(1) 運営委員会 食農アドバイザー会議

○運営委員会

開催日	場所	開催内容	備考
① 平成28年6月28日	本学経済学部本館5階第1会議室	1) 研究所の事業計画と予算、2) 研究所規約関係、3) 客員教授の件	
② 平成29年3月22日	本学経済学部本館5階第3会議室	1) 研究所の活動結果について、2) 平成29年度研究所活動について	

○食農アドバイザー会議

開催日	場所	開催内容	備考
① 平成29年3月3日	本学本部共通棟3階会議室	1) 研究所の業務と活動について、2) 平成29年度の研究所の活動について(意見交換)。研究所活動について、県農業の歴史(展開史)のとりまとめ、食農総合研究所の支援(応援)組織の立ち上げ、和歌山県産のPRの強化、現地の実情を踏まえた研究・教育活動の充実、地域資源の活用と研究開発、大学における食農領域の強化、食農総合研究所の今後の展開に関する方向づけの必要性などの意見・提言があった。	食農アドバイザー5人出席

5. 研究所活動

(2) 所内会議

開催日	開催内容	備考
① 2016. 4. 12	食農総合研究所の体制と活動方向など	
② 2016. 4. 19	食農総合研究所の体制と活動方向、PR活動など	
③ 2016. 4. 26	食農総合研究所の業務・活動計画など	
④ 2016. 5. 10	食農総合研究所の業務・活動計画、パンフレットの作成など	
⑤ 2016. 5. 17	食農総合研究所パンフレットの作成、封筒、研究所活動の具体化など	
⑥ 2016. 5. 24	食農アドバイザリーボード関係、運営委員会関係、研究ユニットの設置関係など	
⑦ 2016. 5. 31	田辺市と和歌山大学との包括協定、食農総合研究所パンフレットの発行など	
⑧ 2016. 6. 6	予算関係、紀美野町と和歌山大学との包括協定など	
⑨ 2016. 6. 14	地方創生推進・食農協議会、食農アドバイザリーボードのあり方、独創的研究支援プロジェクトなど	
⑩ 2016. 6. 21	第1回運営委員会の件、地方創生推進・食農アドバイザーへの依頼の件など	
⑪ 2016. 6. 28	第1回運営委員会の件、地方創生推進・食農アドバイザーへの依頼の件、研究ユニット活動のあり方など	
⑫ 2016. 7. 5	地方創生推進・食農協議会、食農アドバイザーへの依頼の件、研究ユニット活動(申し合わせ)の件など	
⑬ 2016. 7. 12	地方創生推進・食農協議会、食農アドバイザーへの依頼の件、研究ユニット活動(申し合わせ)の件など	
⑭ 2016. 7. 19	地方創生推進・食農協議会、食農アドバイザーへの依頼の件、研究ユニットへの参加募集の件など	
⑮ 2016. 7. 26	地方創生推進・食農協議会、食農アドバイザーへの依頼の件、研究ユニットへの参加募集の件	
⑯ 2016. 8. 2	地方創生推進・食農協議会、食農アドバイザーへの依頼の件、研究ユニットへの応募状況の件など	
⑰ 2016. 8. 24	地方創生推進・食農協議会開催の件、研究ユニットの応募確認と今後の日程の件、紀美野町共同研究の件など	
⑱ 2016. 9. 15	地方創生推進・食農協議会開催の件、研究ユニット関連の件、平成29年度概算要求関係など	
⑲ 2016. 9. 29	地方創生推進・食農協議会開催の件、食農協議会情報交換会の件、研究ユニット会議の件など	
⑳ 2016. 10. 17	研究ユニット説明会の件、食農アドバイザリーの件、紀美野町共同研究の件など	
㉑ 2016. 11. 14	研究ユニット会議の件、研究所ホームページ立ち上げの件、オフィスの管理と予算執行状況など	
㉒ 2016. 12. 5	当面の予算執行の件、研究ユニット会議の件、研究所ホームページ立ち上げの件など	
㉓ 2016. 12. 19	当面の予算執行の件、研究ユニット会議の件、次年度予算要求の件など	
㉔ 2017. 1. 16	当面のスケジュールの件、研究ユニットの取組、研究所公開セミナー、食農アドバイザー会議など	
㉕ 2017. 2. 6	当面のスケジュールの件、食農協議会・実務者会議の開催日程、実績報告の作成など	
㉖ 2017. 2. 13	食農アドバイザー会議、食農協議会実務者会議、実績報告の作成、当面のスケジュールの件など	
㉗ 2017. 3. 13	運営委員会の開催内容、予算の執行状況と次年度の予算など	

5. 研究所活動

(3) 研究所研究ユニット会議

会議名	開催日	場所	開催内容	備考
① 研究ユニット説明会	平成28年10月28日	本学経済学部本館5階 第1会議室	1) 食農総合研究所の概要説明について、2) 研究ユニットの設置ならびに運営について	
② 「地域資源活用」研究ユニット会議	平成28年12月1日	本学経済学部本館5階 第1会議室	1) 研究所ユニットリーダーの選出とユニットの運営について、2) 研究ユニットのこれからの取組について。研究ユニットリーダー：岸上光克(地域活性化総合センター)、研究ユニットサブリーダー：荒木良一(教育学部)、連絡調整担当：植田淳子(食農総合研究所特任助教)	
③ 「都市農村共生」研究ユニット会議	平成28年12月8日	本学経済学部本館5階 第3会議室	1) 研究所ユニットリーダーの選出とユニットの運営について、2) 研究ユニットのこれからの取組について。研究ユニットリーダー：辻和良(食農総合研究所特任教授)、連絡調整担当：植田淳子(食農総合研究所特任助教)	
④ 「ICT活用」研究ユニット会議	平成28年12月16日	本学経済学部本館2階 経済研究所	1) 研究所ユニットリーダーの選出とユニットの運営について、2) 研究ユニットのこれからの取組について。研究ユニットリーダー：大浦由美(観光学部)、連絡調整担当：植田淳子(食農総合研究所特任助教)	

5. 研究所活動

(4) オフィス会議

開催日	開催内容	備考
① 2016. 4. 11	研究所オフィスの運営と予算管理	
② 2016. 4. 18	研究所オフィスの運営と予算管理	
③ 2016. 4. 25	研究所オフィスの運営と予算管理	
④ 2016. 5. 9	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑤ 2016. 5. 16	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑥ 2016. 5. 23	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑦ 2016. 5. 30	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑧ 2016. 6. 13	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑨ 2016. 6. 27	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑩ 2016. 7. 11	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑪ 2016. 7. 25	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑫ 2016. 8. 8	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑬ 2016. 9. 13	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑭ 2016. 10. 24	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑮ 2016. 11. 14	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑯ 2016. 12. 12	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑰ 2017. 1. 23	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑱ 2017. 2. 13	研究所オフィスの運営と予算管理	
⑲ 2017. 3. 13	研究所オフィスの運営と予算管理	

5. 研究所活動

(5) 研究所成果報告・研究年報・研究所たよりなど

種類	発行日	内容	備考
① 研究所研究ユニットチラシ	平成29年1月	公開シンポジウム(食と暮らしのものがたりーテロワールを活かすー	
② 研究所研究ユニットチラシ	平成29年1月	都市農村共生研究ユニット現地交流会 『秋津野ガルテンを中心とした地域づくりの取り組み』	
③ 研究所チラシ	平成29年2月	食農総合研究所 公開セミナー	
④ 食農総合研究所研究年報	平成29年3月	食農総合研究所の業務活動報告	印刷:平成29年4月
⑤ 食農総合研究所研究成果	平成29年3月	食農総合研究所研究成果第1号 『和歌山県への移住者の実態と受入協議会の課題(和歌山県への移住に関するアンケート調査報告書)』	

5. 研究所活動

(6) 意見交換会、広報活動、その他の活動など

	名称	日時	場所	内容	備考
①	「COC+」と食農総合研究所との意見交換会	平成28年9月1日	本学経済学部本館5階第1会議室	地域活性化と教育活動:1)「COC+推進室」ならびに食農総合研究所の概要紹介、2)各スタッフの自己紹介ならびに情報・意見交換	
②	和歌山大学ホームカミングデー	平成28年10月22日	本学G101	食農総合研究所の設立と活動について	
③	和歌山大学教育懇談会	平成28年11月5日	本学G101	同上	
④	和歌山県経営支援課(普及班)ならびに県振興局農林水産振興課との意見交換	平成28年7月21日、平成28年12月～平成29年3月	各県振興局など	地域の取り組み状況と課題	